

株式会社ブリヂストン  
グローバル広報オペレーション部門  
東京都中央区京橋3丁目1番1号  
〒104-8340  
電話：03-6836-3333  
FAX：03-6836-3184  
<https://www.bridgestone.co.jp>

2025 年 11 月 21 日

## 「2025 Bridgestone World Solar Challenge Partners Reception」を オーストラリア大使館で開催

「サステナブルなモータースポーツ」を通じて、持続可能な社会に向けた共創活動を加速

在日オーストラリア大使館（東京都港区）と株式会社ブリヂストン（以下、ブリヂストン）は、2025 年 11 月 20 日（木）に「2025 Bridgestone World Solar Challenge (BWSC) Partners Reception」を共催しました。本イベントでは、2025 年 8 月 24 日（日）～31 日（日）にオーストラリアで開催された世界最高峰のソーラーカーレース「2025 BWSC<sup>※1</sup>」の成功を祝うとともに、参加チームや共創パートナーと共に、BWSC を起点とした持続可能な社会の実現に向けた活動を広く発信しました。



2025 BWSC Partners Reception 記念写真

ブリヂストンは、サステナブルなグローバルモータースポーツ活動を通じて、パートナーと共に持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速しています。BWSC2025 では、再生資源<sup>※2</sup>・再生可能資源<sup>※3</sup> 比率を 65%以上に向上した「ENLITEN<sup>®</sup>」<sup>※4</sup> 技術搭載タイヤの開発・供給や、低炭素輸送の実現、使用後のリサイクルに至るまで、バリューチェーン全体でサステナブルな取り組みを進化させました。

本イベントでは、その共創パートナーである日本製鉄株式会社、帝人株式会社、DHL グローバルフォワーディングジャパン株式会社による、各社のサステナビリティに向けた取り組みなども紹介されました。加えて、2025 BWSC に日本から参加した大阪工業大学、工学院大学、東海大学、和歌山大学の次世代を担うエンジニアである学生たちから、今大会での技術的チャレンジやサステナビリティへの取り組みについてスピーチがありました。また、BWSC の開催地であるオーストラリアの産業に大きく貢献し、当社の重要な鉱山ビジネスパートナーである BHP ジャパン株式会社、リオティントジャパン株式会社も参加しました。

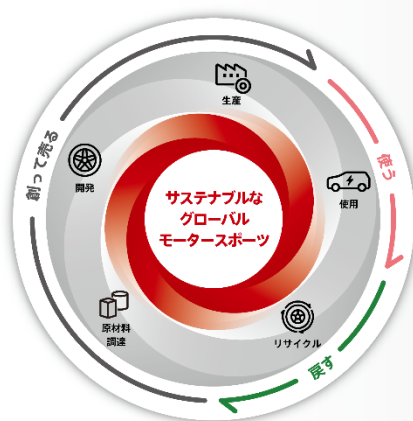
■ 駐日オーストラリア大使 ジャスティン・ヘイハースト氏のコメント

「2025 BWSC Partners Reception をブリヂストンと共催できたことを光栄に思います。この壮大な BWSC は、オーストラリアの大地を縦断し、持続可能性に貢献する最先端技術を発信しています。革新を推進する才能ある若きエンジニアと大学の皆さんに心から敬意を表します。」

■ 株式会社ブリヂストン 代表執行役 Global CEO 石橋 秀一のコメント

「2025 BWSC の成功を、共に挑戦したチームやパートナーの皆様、そして開催地オーストラリアに関わる皆様と分かち合えることを心から嬉しく思います。BWSC およびサステナブルなモータースポーツ活動は、当社にとって「走る実験室」であり、BWSC は世界中の大学生チームがイノベーションを競い合う熱い舞台でもあります。当社は、共創パートナーの皆様と共に、未来を担う次世代エンジニアの挑戦を支えながら、自らもイノベーションとサステナビリティの両面で挑戦を続けていきます。ブリヂストンは、レースに掛ける情熱、そしてパートナーの皆様と共に持続可能なモビリティ社会を支えていく情熱を大切に、共感から共創へとつなげることで、モビリティの未来になくしてはならない存在となることにコミットしていきます。」

【ブリヂストンの 2025 BWSC におけるサステナブルな活動（バリューチェーン全体）】



**BRIDGESTONE**  
**ENLITEN**

- 再生可能資源を拡充・多様化  
 — 再生資源・再生可能資源比率 65% 以上  
 当社初の新たな再生資源を採用 “共創”：  
 再生カーボンブラック / 再生スチールコード
- 「ENLITEN」技術により、環境性能とソーラーカーに求められる性能にエッジを効かせるカスタマイズ  
 — 低転がり抵抗、耐摩耗、軽量化、耐パンク性の確保
- 低炭素輸送：DHL の GoGreen Plus ソリューション  
 — 持続可能な船舶燃料の使用により、燃料の製造、輸送、貯蔵、船上使用におけるライフサイクル全体（Well-to-Wake）での CO<sub>2</sub> 排出量を最大 85% 削減
- 使用タイヤ本数低減の促進  
 （現地サポート本数を 24 本 ⇒ 16 本に削減）
- タイヤリサイクル推進：  
 レース地であるオーストラリアにてリサイクル実施  
 （酪農用ゴムマットへ再利用）

- ※1 Bridgestone World Solar Challenge オフィシャルサイト  
<https://www.bridgestone.co.jp/bwsc/>  
大会主催者ホームページ  
<https://worldsolarchallenge.org/>
- ※2 再生資源（Recycled Material）：回収（再生）された材料を再加工して製造され最終製品や部品に使用される材料。（ISO 14021: 2016 の定義 に基づく）
- ※3 再生可能資源（Renewable Material）：継続的に補充される生物由来のバイオマスからなる材料（バイオ由来の材料）。補充速度が枯渇速度以上であることが条件。（ISO 14021: 2016 の定義に基づく）
- ※4 商品設計基盤技術「ENLITEN」（エンライトン）：サステナビリティへ繋がる環境性能、それぞれの市場やお客様のご要望によって顕在化している要求（ニーズ）、潜在的な要求（ウォンツ）、さらに当社が市場・お客様が想像もしえない新たな価値を提供する性能（インスパイア）の 大幅な向上を目指し、商品性能の「エッジを効かせ」、「究極のカスタマイズ」を実現する商品設計基盤技術。

以上

<p>本件に関するお問い合わせ先</p> <p>&lt; 報道関係 &gt; グローバル広報オペレーション部門 TEL：03-6836-3333</p> <p>&lt; お客様 &gt; お客様相談室 TEL：0120-39-2936</p>
---